

興部高校

PTAだより

第162号

令和5年3月1日発行

発行 北海道興部高等学校
PTA研修広報委員会
印刷 株式会社ソーゴー

教育職員 12名
行政職員 3名
生徒数
1年生 15名
2年生 11名
3年生 11名
計 37名

卒業生の皆さん、皆さんの卒業に心からお祝いを申し上げます。

さて、皆さんは、新型コロナウイルス感染症の流行による様々な制限や制約を乗り越え、充実した高校生活を送るよう努めてきました。学習では毎日の授業や宿題、考查、模擬試験・検定試験などに真剣に取り組むとともに、行事や部活動では仲間とともに目標に向かって力の限り取り組んできました。このように、皆さんはゴールを目指して与えられた課題を確実にこなし、素晴らしい結果を残してきました。

しかし、これからは用意された課題、

卒業に向けて

興部高校を卒業する三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様におかれましても、立派に成長したお子様が、今日この日を迎えられましたことに心よりお喜び申し上げます。

また、三年間子供たちを厳しくも温かく支え、ご指導して頂いた校長先生をはじめ、先生方、誠にありがとうございます。先生方のおかげで子供たちは立派に成長することができました。

卒業生の皆さん、興部高校での三年間は

輝け、興部高校卒業生！

PTA会長 笹岡 彰 仁

どうだったでしょうか？皆さんが過ごしたこの三年間は、新型コロナウイルス感染症により、様々な制約がある中、高校生活を送られた事と思います。その中でも、仲間と協力、工夫をしながら過ごした学校生活の思い出は、一生の宝物となると思います。

高校卒業後は就職、進学とそれぞれ進む道は違います。また、今までは違い成人として責任もついてきます。自分で考え、決断し物事を進めることも多くなってくるようになります。大人として自立をし

校長 佐藤 敬 二

決められた課題はありません。自ら課題を見付け、その解決に向けて考え、行動していかなければなりません。

また、今までは多くの問いに正解があり、それを求めて行動していくというゴールがありました。しかし、これからは正解のない問いに、ゴールのない課題に取り組んでいかなければなりません。

このような社会で生きていくためには、物事や情報をそのまま受け入れるのではなく、多様な角度から検討し先入観にとらわれない、すなわちゼロベースでその本質を見抜く洞察力が大切です。さらには、失敗や挫折に見舞われても、そ

これから学び取り、挑み続ける精神的な強さや樂觀的な思考も必要になってきます。

そのため皆さんには、様々なことに興味や関心を広げ、少しの変化も見逃さない観察力を磨いてほしい、結果や報酬をすぐに求めることなく、すべてが自らの糧になるものと信じて挑戦を続けてほしいと思います。

解のない困難な課題に立ち向かい、「至誠力行」の精神で活躍する皆さんを応援しています。

保護者の皆様、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で教育活動やPTA活動の制約が多かった一年でした。日ごろからの皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

ていかなくはなりません。今以上に苦しい事、厳しいことが待っているかもしれません。でも、それ以上にうれしい事、楽しい事もたくさん待っていると思います。自立をすることについて無理する事はありません。我々保護者や、一緒に学生生活を過ごした仲間、これからで出会うこととなる人々たちなど、色々な人に相談し頼る事も大事な事です。そうやりながら自分が目指す、魅力のある人間に成長してもらいたいと思います。

最後になりますが、卒業生の皆さんが、更なる成長を遂げ、輝く未来になる事を願い、卒業に向けたメッセージしたいと思います。

令和4年度部活動結果

陸上競技部			
●オホーツク陸協記録会第一戦（4月30日 北見市）			
男子800m	高橋 聖哉	2分30秒34	
男子やり投げ	高橋 聖哉	31m59	
女子砲丸投げ	陶 愛梨	6m54	
	及川なつみ	5m81	
女子円盤投げ	陶 愛梨	20m13	
	相澤菜々子	15m66	
女子やり投げ	相澤菜々子	28m39	
	相澤菜々美	27m49	
●オホーツク陸上競技選手権大会（5月7日～8日 北見市）			
男子800m予選	高橋 聖哉	2分31秒46	
男子やり投げ決勝	高橋 聖哉	33m88	10位
女子砲丸投げ決勝	陶 愛梨	6m90	3位
	及川なつみ	6m16	4位
女子円盤投げ	陶 愛梨	22m62	3位
	相澤菜々子	15m66	6位
女子やり投げ	相澤菜々子	30m95	2位
	相澤菜々美	29m37	4位
●高体連オホーツク支部陸上競技選手権大会（5月19日～21日 北見市）			
男子やり投げ決勝	高橋 聖哉	29m97	17位
女子砲丸投げ決勝	相澤菜々美	7m17	5位（全道進出）
	陶 愛梨	6m81	8位
	及川なつみ	6m29	9位
女子円盤投げ決勝	陶 愛梨	24m35	2位（全道進出）
	相澤菜々子	14m79	8位
女子やり投げ決勝	相澤菜々子	31m78	4位（全道進出）
	相澤菜々美	22m82	3位（全道進出）
●オホーツク陸協フィールド記録会（5月29日 網走市）			
男子やり投げ	高橋 聖哉	36m15	2位
女子砲丸投げ	陶 愛梨	6m68	3位
	及川なつみ	6m59	4位
女子円盤投げ	陶 愛梨	22m06	1位
	相澤菜々子	15m08	5位
女子やり投げ	相澤菜々子	26m02	4位
	相澤菜々美	29m26	3位
●北海道高等学校陸上競技選手権大会（6月13日～16日 釧路市）			
女子砲丸投げ予選	相澤菜々美	7m17	40位
女子円盤投げ予選	陶 愛梨	22m56	31位
女子やり投げ予選	相澤菜々子	31m12	17位
	相澤菜々美	32m87	11位（決勝進出）
決勝	相澤菜々美	34m15	8位（入賞）
●オホーツク陸協記録会三戦（7月18日 網走市）			
男子やり投げ	高橋 聖哉	35m35	9位
女子砲丸投げ	及川なつみ	5m90	2位
●高体連オホーツク支部新人陸上競技選手権大会（8月20日～21日 網走市）			
男子やり投げ決勝	高橋 聖哉	33m88	10位
女子砲丸投げ決勝	及川なつみ	6m44	4位（全道新人進出）
女子やり投げ決勝	及川なつみ	20m79	5位（全道新人進出）
●オホーツク陸協秋季陸上競技大会（9月10日～11日 網走市）			
男子やり投げ決勝	高橋 聖哉	33m11	9位
女子砲丸投げ予選	及川なつみ	6m53	3位
女子やり投げ予選	及川なつみ	22m44	6位
●北海道高等学校新人陸上競技選手権大会（9月20日～22日 札幌市）			
女子砲丸投げ予選2組	及川なつみ	6m20	19位
女子やり投げ予選	及川なつみ	22m63	16位
空手道			
●第22回 高体連オホーツク支部空手道選手権大会（5月29日 北見市）			
【男子個人組手】 加藤 青空 第1位（全道出場権獲得）			
●第47回 北海道高等学校空手道選手権大会（6月21日～23日 網走市）			
【男子個人組手】 加藤 青空 1回戦 1－10 恵庭南 敗退			
●第14回 オホーツク支部新人戦空手道選手権大会（12月11日 北見市）			
【男子個人組手 －68kg級】 加藤 青空 第2位（全道出場権獲得）			
●第40回 北海道高等学校空手道選抜大会（1月18日～20日 室蘭市）			
【男子個人組手 －68kg級】 加藤 青空 第3位			
1回戦 4－0 札幌工業 勝利			
2回戦 4－3 岩内 勝利			
準決勝 0－6 恵庭南 敗退			
吹奏楽部			
●興部高校・興部中学校合同演奏会 主催（7月24日 興部町総合センター）			
●高文連オホーツク支部音楽発表大会 参加（8月18日～19日 北見市）			
●興部高校 Spring Concert 主催（3月11日 興部高校）			
卓球部			
●第75回高体連オホーツク支部卓球選手権大会（5月26日～28日 北見市留辺蘂町）			
【男子シングルス】			
面 翔竜 1回戦 0－3 北見北斗 敗退			
笹岡 雄太 2回戦 1－3 網走南ヶ丘 敗退			
草野 翔舞 1回戦 0－3 網走南ヶ丘 敗退			
【女子シングルス】			
高橋 樹乃 1回戦 1－3 紋別 敗退			
【男子ダブルス】			
笹岡 雄太・面 翔竜 1回戦 0－3 雄武 敗退			
●令和4年度 高体連オホーツク支部新人卓球選手権大会（11月18日 網走市）			
【男子シングルス】			
草野 翔舞 2回戦 0－3 雄武 敗退			
【女子シングルス】			
高橋 樹乃 2回戦 0－3 北見藤 敗退			
茶道			
●令和4年学校茶道研修会 参加（10月2日）			
（茶道裏千家淡交会旭川学校茶道連絡協議会 主催）			

日本漢字能力検定			
準二級	三名	三級	一名
実用英語技能検定			
二級	一名	準二級	三名
三級	二名		
全商英語検定			
二級	三名	三級	六名
三級	二名		
ニュース時事能力検定			
二級	二名		
三級	二名		
全商簿記実務検定			
二級	二名	三級	四名
一級	二名		
全商情報処理検定			
二級	二名		
三級	四名		
全商ビジネス文書実務検定			
一級	二名	二級	二名
二級	二名		
全商珠算・電卓実務検定			
三級	四名		
四級			
実用数学検定			
二級	一名	準二級	一名
一級			
（令和五年二月六日現在）			
本校では西紋地区教育文化振興会から検定料補助があります。生徒の皆さんには、多くの検定にチャレンジしてもらいたいと思います。			

令和4年度進路決定状況	
（令和5年2月9日現在）	
【大学（2名）】	・名寄市立大学 ・札幌学院大学
【専門学校（5名）】	・北海道歯科技術専門学校 ・札幌医療秘書福祉専門学校（2名） ・札幌プライダル&ホテル観光専門学校 ・北海道理容美容専門学校
【就職（1名）】	・（有）下村自動車整備工場
【公務員（2名）】	・北海道職員（2名）



相澤 菜々子

私は高校生活三年間、陸上部や日々の中で人との関わり方や仲間の大切さを知りました。コロナが広まり続ける学校生活で、私たち生徒の希望を少しでも叶えようと全力を尽くしてくれた先生方にすごく感謝しています。楽しいことばかりではなかった三年間でしたが、この思い出も大切にしつつ、次の学校でもたくさん思い出を作っていきたいと思っています。

相澤 菜々美

今思うと三年間、あつという間でした。この三年間で多くの学びがありました。楽しいこともあれば、もちろん辛いこともありました。私はこの三年間で「人と関わること」の大切さについて学びました。私は元々、内にこもる性格でしたが部活動を通して自分自身を成長させることができました。

荒関 くみ

この三年間、楽しいことや辛いことなどたくさんあったことがありますが、このクラスのおかげで大変なこ



とも乗り越えることができました。また、吹奏楽部での活動もコロナ禍にも関わらず、様々な方のおかげで充実したものになりました。今まで支えてくれた先生方や友人にとっても感謝しています。三年間ありがとうございました！

池川 あいら



部活や勉強、行事など全力を出して充実した高校生活でした。先生方の厚すぎるサポート、唯一無二の友達、関わった方すべてに感謝です。卒業するのは寂しいですが、あの日々があったから大学も頑張れそうです。本当にありがとうございました。

柄澤 千華

小山 理子

この三年間で一生の友人となる人達ができました。楽しいときには一緒に笑い合い、辛い時には支え合うことができる友人をこれからも大切にしていきたいと思っています。

笹岡 雄太

私はこの三年間で



たくさんの方に挑戦し、大きく成長できた三年間だったと思います。大きなきっかけは部活動です。初めてのことも最後までやりきることができ、大会や練習などを通してたくさん成長することができました。これは、三年間支えてくれた先生方

できた時に、また、私を温かく迎えてくれ、支えてくれた友にはとても感謝しています。

陶 愛梨



三年間、とても充実した学校生活を送ることができました。面白いクラスメイトのおかげで、沢山笑って、沢山思い出を作ることができました。三年間ありがとうございました！

山崎 那奈



鈴木 菜月

高校三年間はあっという間に過ぎて、もう卒業してしまおうと寂しいような感じがします。友達や先生に支えてもらったことが一番嬉しいですね。クラスの皆、ありがとう！これから慣れないこと

もありですが一生懸命頑張ります！

同じ時代を生きる

三A担任 山本 融一

卒業おめでとう。みなさんは、私が担任として送る五度目の卒業生です。私にとって興部高校は五校目の勤務校。ご縁をいただいた勤めることになった学校で担任を経験したい、という思いは若い頃と変わらずに持ち続けていて、幸運にも三年前にその機会に恵まれました。

コロナと向き合う高校生活でした。感染への対策に戸惑いながらの入学式。あの頃はマスクや消毒液が不足していました。高校生活にやっと慣れてきたのに四月二〇日から五月一日まで緊急事態宣言による臨時休校。不安も大きかったと思います。

何かつながりを感じられたり、一緒に楽しめないか、ということもいつも考えていました。休校中に葉書と手紙を学校に送ったのは希少な経験になったと思います。



す。「こんなことを考えているんだけれどどうだい？」と聞いかければ、「良いですね！」と声があがりました。ちよつと微妙な反応のときもあったけれど、みんな参加してくれました。



人を信じられる生徒たち。きつと、これまでたくさんの人たちとの関わりが育んでくれた賜でしょう。そんな皆さんの、個々の良いところを伸ばし、興部高校での高校生活に自信を持って通って欲しいという思いでした。

私は学校では教師という立場にありますが、皆さんより僅かばかり早く生を受け、この役割をさせていただいているに過ぎない存在であると思っています。逆に、この三年間で皆さんから多くのことを学びました。ケコア君を受け入れ、触れ合う姿もその一つでした。皆と過ごした彼の一年間は私にとっての宝物です。保護者の皆様、三年間ご協力いただきありがとうございました。保護者の皆さんの世代より私が上にな



ありがとうございました



今、私たちは同じ時代を生きています。年齢は異なるけれど、長い歴史からみれば、今の時代を共に生きています。そしてこれからを共に生きていく。今後何か、つながりを持つことができないか、まだまだ考えています。つながっていきましょう。三年間、本当にありがとうございました。

